



4 箇国語でのムスリム（イスラーム教徒）向け専用ウェブページを開設

～産官学・宗教法人の連携により京都独自の認証制度を新たに作りました～

この度、京都市及び（公財）京都文化交流コンベンションビューロー（※1）では、宗教法人京都ムスリム協会の監修のもと、4 箇国語では国内自治体初（※2）となるムスリム観光客向け専用ウェブページを下記のとおり開設しました。

（※1）京都市・京都府・商工会議所等の出資により設立された公益財団法人。海外からのビジネス・レジャーのお客様の満足度及び京都の世界的なブランド力向上を目指し、国際観光コンベンション事業としてプロモーション等を実施。

（※2）日本政府観光局（JNTO）シンガポール事務所調べ

記

1 開設日

平成25年12月26日（木）

2 内容

- 日本における礼拝方向の明示
- ムスリム対応レストラン情報（9店舗）

* 京都ハラル評議会（宗教法人京都ムスリム協会内）による認証・確認を得た店舗
イスラーム教徒（ムスリム）が安心して食事できるための基準として、宗教法人京都ムスリム協会による独自の認証制度に基づいています（今回のウェブサイトに掲載するレストランは、原則としてこの制度に従ったものとなっています）。

- ・各種日本料理（懐石、精進、豆腐）の他、インドやトルコ料理等
- ・ムスリムの方になじみが薄い日本料理については、料理の特徴を紹介

- ホテル情報（9店舗）

- ・ムスリム対応可能なレストラン併設ホテル
- ・対応レストランはないが受入に積極的なホテル

（モスク情報の提供、礼拝方向を調べるコンパス等の貸出等）

3 言語

英語、アラビア語、トルコ語、マレーシア語

4 サイトアドレス

www.kyoto.travel/muslim（京都観光公式ホームページ「Kyoto Official Travel Guide」内）

本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー 国際観光コンベンション部

担当：土居・櫻井 電話：075-212-4145 FAX：075-212-4121 Mail：r-doi@helloworld.or.jp

■ ムスリム（イスラーム教徒）向け専用ウェブページ

トップページ



英語ページトップ



平成25年12月26日

京都ハラール評議会

(電話:075-231-3499)

京都でのハラール認証

1. 「ハラール認証」とは

ムスリム（イスラーム教徒）は、イスラーム法の戒律に従って生きることが義務づけられています。

戒律には、食品・食事に関するものも含まれ、たとえば、豚肉・豚由来製品やアルコール飲料を摂取することは厳しく禁止されています。

「ハラール」とは「許された」「許容された」の意のアラビア語で、信徒はハラールのものを飲食することが原則です。レストラン等で出される食事等が「ハラール」であることを認証し、イスラーム圏からのお客さまに安心して召し上がっていただけるようにするのが「ハラール認証」です。

2. 戒律を守るために：京都ハラール評議会の設立

「ハラール」は宗教的戒律に基づきますので、「ハラール認証」も宗教活動の一環となります。非ムスリムは、ハラール認証をおこなうことができません。

そこで、「宗教法人 京都ムスリム協会（KMA）」が京都におけるハラール認証をおこなうこととなり、「特定非営利活動法人 京都イスラーム文化協会（K I C S）」と共に、平成24（2012）年に「京都ハラール評議会」を設立しました。

3. （宗教法人）京都ムスリム協会

京都ムスリム協会（KMA）は昭和62（1987）年に設立され、現在は京都府認証の宗教法人として活動している「京都で唯一のイスラームを代表する宗教法人」です。

上京区で「京都モスク」を運営し、日々の礼拝、金曜礼拝、2大祭、ラマダーン月（断食月など）を主催し、信徒の拠り所となってきました。会員は日本人のほかイスラーム圏出身者が多く、2大祭には400名以上が参加しています。

4. （NPO）京都イスラーム文化協会

京都イスラーム文化協会（K I C S）は平成17（2005）年に国際交流のためのNPO法人として設立され、イスラーム圏との友好・親善やイスラーム諸国からの留学生支援をおこなってきました。

京都ムスリム協会と京都イスラーム文化協会は、平成16（2004）年から共同で「イスラーム文化センター」を運営し、イスラームに関する冊子の配布、イスラーム文化講演会、アラビア語講座などを通じて、京都および近隣の市民の皆さまに親しまれてきました。

また、両協会は、毎年のラマダーン月（断食月）に「イスラーム世界フェスティバル」を開催し、

イスラーム諸国の手作りの食事(ハラール食)を、市民の皆さまとご一緒する機会を設けています。門川大作市長をはじめとして、約1千人が集う国際親善の会となっております。

5. ハラール認証にかかる費用（無料、賛助会費のみ）

ハラール食品を食べることは宗教的戒律を守る宗教行為であり、ハラール認証をおこなうこともそのための宗教活動と位置づけられます。

そのため、事業者の皆さまには、本評議会の趣旨にご賛同いただき、NPO法人の賛助会員となっただき、ハラール認証はすべて無料で、宗教法人の宗教活動としておこなってまいります。

私どもにとって大事なことは、

- (1) 日本でのイスラーム理解の広がり
- (2) イスラーム圏と日本の友好・親善の促進
- (3) 日本でムスリムが安心して暮らせる食環境・宗教環境の実現

であり、そのために全力を尽くしてまいりたいと存じます。

今般の京都市様、京都文化交流コンベンションビューロー様によるムスリム観光客誘致事業は、私どもの目的にもかなう素晴らしい事業であり、おおいに協力させていただきたいと存じます。

本件に関するお問い合わせ：

京都ハラール評議会

(宗) 京都ムスリム協会／(NPO 法人) 京都イスラーム文化協会

〒602-0853 京都市上京区宮垣町 92 リバーサイド荒神口 1F

Tel:075-231-3499 Fax : 075-231-3497

Email : jimuslim@islamjapan.net

平成25年12月26日

京都ハラール評議会

(電話:075-231-3499)

ハラール推進のカテゴリー

今般の京都市様・京都文化交流コンベンションビューロー様のムスリム観光客誘致事業の一環として、イスラーム圏からのお客さまに安心して食事を楽しんでいただけるよう、下記のような認証・確認のカテゴリーを設けました。

基本的な考え方は、

- (1) イスラームの戒律、イスラーム法の規定を厳密に守ること、
- (2) ホテル・レストラン等の事業者様が無理なく対応できるようにすること

です。

1. ホテル

カテゴリー	概要
ムスリム・フレンドリー	(1) コンシェルジュにムスリム客のためのモスク地図、礼拝用品等を用意。 (2) 館内のレストラン等での「ハラール・メニュー」の提供
ムスリム・ウェルカム	上記(1)

2. レストラン、カフェ、割烹等

※下記カテゴリーそれぞれにハラール証明書、確認書が付く。

カテゴリー	概要
ハラール	提供される食品はすべてハラール食品。
ムスリム・フレンドリー	一般客向けの通常のメニューと別に、ハラール食品だけを用いたハラール・メニューを用意。一般向けとハラール・メニューでは、調理プロセスも厳密に分けられています。
ムスリム・ウェルカム	豚肉、豚由来食品、アルコール系調味料などを一切不使用。 (非ハラール肉を使用している場合もありますので、必要に応じてお客さまからご確認いただきます)
ポークフリー	豚肉、豚由来食品、その他の肉、動物由来食品を不使用。 (アルコール系調味料を使用している場合もありますので、必要に応じてお客さまからご確認いただきます)